

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：北海道開発局建設部地方整備課
担当課長名：吉井厚志

事業名	一般道道 仁別大曲線	事業区分	地方道	事業主体	北海道
起終点	自：北海道北広島市大曲工業団地 至：北海道北広島市輪厚元町	延長	2.7 km		

事業概要

一般道道仁別大曲線は、北広島市仁別から国道36号至る延長約7kmの路線であり、大曲工業団地と札幌市内のアクセス及び国道36号を介して北海道縦貫自動車道北広島ICへ連絡する重要な路線である。

本事業は、国道36号の恒常的な交通渋滞の緩和を図るため、延長2.7kmの4車線道路の新設整備を行うものである。

事業の目的、必要性

当該区間の整備は、札幌市から千歳市方面の大量自動車交通を担う国道36号の恒常化した交通渋滞の緩和を図るとともに、骨格道路網の整備による地域間の緊密化及び工業団地とICのアクセス強化による物流活動の効率化に大きく寄与するものである。

全体事業費	60億円		計画交通量	16,400台/日	
費用対効果 分析結果	B/C	3.8	総費用	187億円	
			（事業費：48億円 維持管理費：1億円）	（走行時間短縮便益：172億円 走行費用減少便益：10億円 交通事故減少便益：5億円）	基準年：平成15年

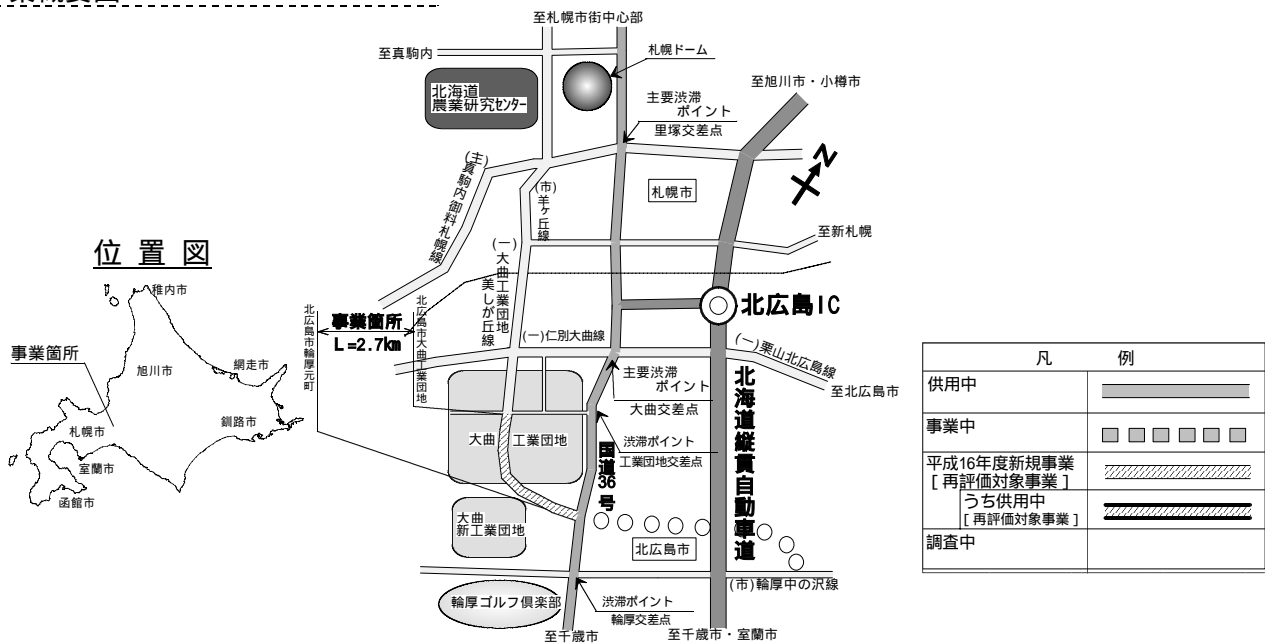
事業の効果等

- ・円滑なモビリティの確保（現道等における混雑時旅行速度20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される、現道等に当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線がある。）
 - ・国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる。）
 - ・災害への備え（緊急輸送道路が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する。）
- 他1項目に該当

関係する地方公共団体等の意見

仁別大曲線の整備は、交通混雑の緩和、地域間の緊密化、物流活動の効率化等に重要な役割を果たすことが期待されており、平成13年度より北広島市をはじめとする6市1町3村から構成される北海道石狩地方開発促進期成会から早期整備の要望を受けている。

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。